

(様式第4号)

上田市障害者基本計画策定委員会 会議概要

1 審議会名	上田市障害者基本計画策定委員会(第3回)
2 日 時	平成25年11月1日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会 場	上田市役所 6階 大会議室
4 出席者	増田会長、山口副会長、小沼委員、北沢委員、小林(彰)委員、小林(法)委員、高橋委員、田口委員、中澤委員、橋詰委員、安江委員、山本委員
5 市側出席者	清水健康福祉部長、鳴澤福祉課長、近藤障害者福祉政策幹、高野丸子健康福祉課長、若林真田健康福祉課長、北沢武石健康福祉課長、堀内課長補佐兼障害者福祉担当係長、小山障害者福祉担当係長、小宮山真田健康福祉課課長補佐兼福祉係長、横関障害者福祉担当主事、吉澤子育て・子育て支援課子育て・子育て支援担当係長、緑川学校教育課学校教育担当係長、小宮山丸子健康福祉課健康推進係長、小川高齢者介護課課長補佐兼高齢者支援担当係長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成25年11月5日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 あいさつ(清水部長・増田会長)
3 協議事項(議事進行は増田会長)
(1) 第二次上田市障害者基本計画について・・・【事前資料 1】【当日資料 1、3、4】 上田市障害者基本計画について 障害者施策に関わる現状と課題について 計画の基本的な考え方について 計画の推進体制について 分野別施策について
(2) 重点施策・事業について・・・【当日資料 2】
(1)から(2)まで事務局より一括説明
(委員) P4 の法律名称が、「障害者総合支援法(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律)」「障害者差別解消法(障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)」 というように正式名称が()書きになっているのは、読みやすさからした表記か。 (事務局)なるべくわかりやすくということで、こうした表記にした。
(委員) P7 中、「身体障害者手帳所持者の年齢別構成割合では、65歳以上の手帳所持者の割合が73% (平成20年度時70%)を占めており、高齢化の傾向にあります。」と記載されているが、 障害のある人が高齢になる場合と、高齢になってから障害認定となる場合があり、整理が必要ではないか。 またP15中1行目、「介助を受けている方」は「介助をしている方」ではないか。 なお、P17の選択肢の記入やグラフが見づらいため、改善してほしい。
(事務局)1点目、2点目については、ご指摘のとおり修正する。また、3点目のグラフについては見やすいものにする。

(委員) P12 の「上田所管内の障害者雇用状況」の表は、今後、最新の数字のものに換えることは可能か。

(事務局) 最新の表に換えていきたい。

(委員) P35 特別児童扶養手当受給者のグラフ掲載の意味がわからないので、説明が必要ではないか。

(事務局) 障害児の状況を現すために掲載した。説明文を加えたい。

(委員) P27 中 市民参画の推進団体等に「福祉サービス事業所」を加えることは可能か。

(事務局) 本来、最初から入っているべきであった。修正する。

(委員) P38・39 「幼少期」から急に「壮年期」に飛んでいる印象だが。

(事務局) 本日配布資料に「青・壮年期」の表記が漏れていた。訂正願いたい。

(委員) 計画書の中に、「上小圏域障害者総合支援センター」と、同センターの部門である「上小地域障害者就業・生活支援センターシェイク」が載っており、わかりにくいいため、今後表記をどのように整理していくか、相談をお願いしたい。

(事務局) よろしくお願いいたします。

(委員) P51 表中、「特別支援学校」の下に「養護学校」とあるが、養護学校は固有名詞であるのでおかしいのではないか。

(事務局) 訂正させていただく。

(委員) P42 中「支援学級に通級」は「支援学級に入級」が正しいのではないか。

同ページ中「必要に応じて「学びの場」の変更を促します。」の文章は、就学指導委員会で検討することであり抵抗ある言葉である。

P43 中「ソーシャルスキルトレーニングの研究」とあるが、発達障害児以外の方にも共通することであり、表現を考えてほしい。

また、同ページ中『ぷれジョブ』活動については、「地域社会が」を主語にするべきと思う。

(事務局) 見直しの意図が伝わるようにしたい。

(委員) P50 に「パーソナルサポートセンターと連携しながら」とあるが、この事業が今後も継続していくのか不明であり、計画に載せるのがよいのか検討が必要である。

(事務局) 確認し、表現を検討したい。

(委員) P54 5番目の 中、「入院中」を「入所・入院中」にしてはどうか。

(事務局) 表現を直したい。

(委員) アクセシビリティという言葉が載っているが、説明を加えてほしい。

(事務局) 脚注を加えたい。

(委員) P61 の、災害情報等のメール配信について、登録者の状況を教えてほしい。

(事務局) 危機管理室に確認し、状況を次回会議で報告する。

(委員) P68 「平成24年10月に上田市虐待防止センターを福祉課窓口、各地域自治センター健康福祉課窓口、障害者自立支援センターに開設しました。」とあるが、上小圏域障害者総合支援センターは通報受付機関であるが、虐待防止センターは市であるので、表記を検討してほしい。また、「長野県障害者権利擁護(虐待防止)センター」は、「長野県障害者虐待防止(権利擁護)センター」が正しい。

(事務局) 訂正する。

(委員) 「成年後見支援センター」のように組織・施設名を略している表記があるが、正式名称で掲

載してほしい。カタカナ表現が多いが、住民視点からみるとわからない言葉が多い。また、「障害者」「障がい者」の表記についてもなるべくわかりやすい工夫をしてほしい。細かい点は後ほど事務局に申し上げる。

(事務局)わかりました。

(委員)当日資料2 「重点施策・事業」のP1 成年後見支援センターの認知度、市民後見人についての目標は、市や社協の内部目標としてはよいと思うが、計画の重点施策の目標にはなじまないと思う。

(委員)市民後見人はとても大切な仕事であり、数値目標に載せるべきと考える。7年も先なら、もっと多くの人数を目標としてはどうか。

(事務局)定住自立圏構想に基づく、新しい枠組による事業であり、市の重要施策であるため、数値目標としたところであるが、数値の取り方も含め、もう一度検討したい。

(委員)「重点施策・事業」のP4 放課後等児童デイサービス事業所数であるが、障害者自立支援協議会でも議論しているところだが、管内の対象児童数からすると、4事業所では乳幼児から小学年の低学年までしか充足できない。18歳までの子どもたちの受け皿となるには目標の事業者数を増やさないと対応できない。

(事務局)検討します。

(委員)見やすいグラフをお願いしたい。棒グラフも効果的に使ってはどうか。また、脚注を付けた言葉は、後ページでその言葉が出てきたときも脚注を付ける方が親切だと思う。

(会長)もう一回は今日のような機会があると思うので、十分検討してほしい。

4 事務連絡(事務局より)

次回の会議は、12月12日(木)に開催予定。

基本計画案についての、質問や意見は11月20日頃までに事務局へ連絡をお願いしたい。

来年1月17日(金)に市長へ答申の予定。

5 閉会